カリーナの林檎　～チェルノブイリの森～（2011）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国　日本
色彩　Color
時間　109分
初公開日 2011/11/19
映倫　G

【解説】
「アイコ十六歳」の今関あきよし監督が、今なおチェルノブイリ原発事故による放射能被害に苦しむベラルーシを舞台に撮り上げたヒューマン・ドラマ。一旦は2004年に「少女カリーナに捧ぐ」というタイトルで完成したものの公開が決まらず、事故から25年となる2011年、現地での新たな取材を基に再編集したバージョン「カリーナの林檎 ～チェルノブイリの森～」として公開が実現。
原発事故のあったウクライナの隣国ベラルーシ。ここに暮らす少女カリーナの家族は事故のせいでバラバラに。母親は病気で入院しており、父親も入院費を稼ぐためモスクワに出稼ぎに。そのためカリーナは首都ミンスクにある親戚の家に預けられていた。そして、居住禁止区域のすぐ隣にあるかつて家族が暮らしていた田舎の家には、祖母だけが一人残っていた。ミンスクでの生活になじめず孤独な日々を送るカリーナは、田舎の家で家族一緒に住める日が来ることを信じていたが…。

【クレジット】
監督　今関あきよし
脚本　今関あきよし
　　いしかわ彰
撮影　三本木久城
編集　三本木久城
音楽　遠藤浩二
ナレーション　大林宣彦
出演　ナスチャ・セリョギナ
　　タチアナ・マルヘリ
　　リュディミラ・シドルケヴィッチ
　　イゴリ・シゴフ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.